

○原計画からの主な見直し点(各物語の実現のシナリオに対して)

1. 資源の環 循環物語 実現のシナリオ

・「レジ袋削減、マイバッグ推進運動を開始・展開する」は既に取組が終了している内容でもあるが、ここは今後のことも視野に入れて、レジ袋だけでなく、過剰包装の課題も加えた形で書き換え

・「マイバッグには環境低負荷商品を必要最小限入れる運動を推進する」、「“もったいない”を楽しむ生活様式を実践する」については、施策の具現性が乏しい(実現困難である)ことから、それぞれの内容を見直し、「日常生活でのごみ減量化を推進する」「ごみをごみにしないことでごみを減らす」に書き換え

・「こだわりと愛着により、暮らしの逸品を育てる生活様式を実践する」にある「市民修理センター」については現実的に困難であり、既存の修理業者がもっと活用されるような方向性での取組に見直し

・「使用期間に応じたロングライフ認証制度の仕組みづくりを進める」は、施策の具現性が乏しい(実現困難である)ことから削除

・「菜の花プロジェクトで、舞台は輪廻転生への大転換へと進む」は菜の花プロジェクト自体が休止していることから、削除

・「リサイクル産業を活性化する」は、現況に合わせて「リサイクル推進による地域活性化への取組」に修正

・「資源回収の多様なルートを確保する」については、現状に鑑みて、多様性の追求というよりは環境負荷や経済性、エネルギー収支等の面で合理的であることが求められることから「持続可能なリサイクルシステムの構築」に修正

2. 資源の環 循環物語 実現のシナリオ

・「バイオマスエネルギーで新たな地域経済活動を起業する、環境産業物語」はバイオマスのみを特化しているが、現況等を鑑みて、バイオマスだけということよりは総合的に新エネルギー全般を視野に入れて、「バイオマスなどの地域の新エネルギーの発掘を進める」として、「バイオマスエネルギーの活用の拡大」と「太陽光や雪エネルギーなどのその他の新エネルギーの利用促進に向けた検討」の2項目からなる構成に書き換え

・「省エネ診断の普及と“もったいない”運動のネットワーク物語」は地域省エネビジョンの策定を受けて、「地域省エネルギーと温暖化対策の普及推進」へ書き換え、ソフト及びハードからの省エネへの段階ごとのシナリオを記述

・「地域全体の地球温暖化対策「地域推進計画」をつくる」は、現時点で温対法に基づく「地域推進計画」の策定についての策定予定がなく、「地域における地球温暖化対策の推進」と

して、公共交通機関の利用促進などを記述

3. 農・山・川 物語の実現のシナリオ

・「農」環境の保全と環境資源の持続的な活用物語の内容について、全体的に現状等に応じて修正を行った。特にバイオマス利活用の推進についての「菜の花プロジェクト」ほかの記述については、現時点で実現性が乏しく、削除

・「山・森」環境の保全と環境資源の持続的な活用物語」のなかの「■森林から発生する木質資源の活用と二酸化炭素吸収促進の仕組みづくり」については、現時点で実現性が乏しく、削除

「水の流域環境と物質循環を持続的に支える河川環境の物語」のなかの「■山と農と川の物質循環を理解し、自然と共生する」については「■河川の自然生態系を再生する物語のシナリオを描く」の内容に集約することとして削除

4. 人の環づくり物語の実現のシナリオ

・「物語の展開とシナリオ管理に向けて、登場人物に必要な情報をゆきわたらせる」では、「情報窓口センターの設置」を掲げているが、これをもう少し簡易的な仕組みである「エコネット」に改め、再構築

・「環境学習リーダー」の位置付けを改めているので、それに応じて、再構築